

29-0

前回の概要

<第5回会議の概要報告>

2005/07/30

1

29-1

<第5回 海岸づくり会議の概要>

日時	2005年7月30日(土曜日)	
場所	鴨川市役所 4階会議室 (13:00～16:45)	
会議の趣旨	漁業や観光、レジャー、市民の憩いの場として貴重な海岸線を、侵食などから守り、ふるさとの自然を将来に残してゆくため、鴨川沿岸(前原海岸・東条海岸)の保全と有効活用をテーマに、市民の方々に海岸利用に関する情報提供を頂くとともに、海岸および漁港の現状と課題についてご紹介しました。5回目は、東条海岸において頻発している越波被害を解決するための具体的な対策案の提案と、加茂川の土砂堆積状況の報告などを行い、専門家を交えて参加者の方々との意見・情報交換を行いました。	
会議の内容	第5回 鴨川沿岸 海岸づくり会議(参加 約40名) ・ 会議の趣旨説明、参加者紹介 ・ 波除堤整備の現状報告 (南部漁港事務所により説明) ・ 当日朝の海岸状況 (専門家より説明) ・ 越波対策案の提案 (事務局より説明) ・ 加茂川の土砂活用 (事務局より説明) ・ カジメの利用と亀塚についての話題提供 (専門家より説明) ・ 意見、情報交換	

<会議の様子>

～鴨川市役所4F会議室にて～



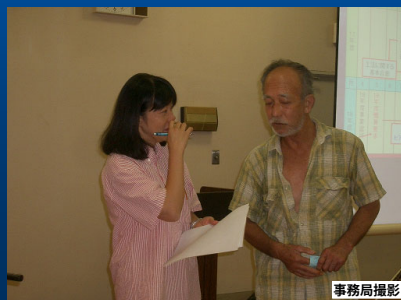
事務局撮影



事務局撮影



事務局撮影



事務局撮影

<会議の内容>

①波除堤の整備の現状報告 (南部漁港事務所)

- ・ 進捗状況と台風による被災状況

②当日朝の海岸状況について (宇多氏)

- ・ 海岸の状況
- ・ 加茂川の土砂堆積状況

③越波対策案の提案 (事務局)

- ・ 陸上対策の事例
- ・ シミュレーションによる越波の再現
- ・ 施設の現況と課題
- ・ 海浜へのアクセス

④加茂川の土砂活用について (事務局)

- ・ 土砂の状況と養浜の可能性

⑤海岸の情報提供について (清野氏)

- ・ カジメの利用と亀塚

＜参加者からの主な意見・質問＞²⁹⁻⁴

・嵩上げをコンクリートでやると子供は海が見えない。シーワールドの大水槽のような厚いアクリルのパネルでつくるといった技術はないか？

・透明な護岸という案よりも、可動の護岸をつくって、危ないときだけせり出してくるというのはどうか？

・前原海岸にある階段は、段差の割には足を乗せるところが非常に狭く不評。足首を折った人もいるので、海浜へのアクセスをもし階段ですとしたら人間工学的な面も考えてほしい。

・越波対策の範囲はどこからどこまでか？

・海浜へのアクセス方法は、スロープの場合は砂がたまって滑りやすくなるので、階段の方が良い。